



伊倉っ子  
だより

【学校教育目標】  
豊かな心と確かな学力を身に付け、  
心身ともにたくましく生きる  
児童の育成

伊倉小学校だより  
第19号  
令和8年3月13日  
文責：校長 須藤 隆

## 心温まる“6年生を送る会”

3月6日（金）に6年生を送る会を行いました。この日は送別遠足を予定しておりましたが、あいにくの雨予報により、子供たちが楽しみにしていた遠足は中止せざるを得ませんでした。しかし、そんな天候の暗雲を吹き飛ばすような、温かく、そして活気あふれる会が校内で行われました。

今回の会の運営を力強く支えてくれたのは、次期リーダーである5年生たちです。企画から準備、当日の進行に至るまで、6年生への感謝を形にしようと、5年生が一丸となって取り組む姿には、最高学年のバトンを受け継ぐという強い自覚と頼もしさを感じました。

当日は天候の急変が予想されたため、急遽時間割を入れ替え、雨が降り出す前に屋外での活動を行いました。突然のスケジュール変更でしたが、子供たちは混乱することなく、状況を正しく理解し、迅速に行動してくれました。この臨機応変な対応力こそ、今年度一年間で培ってきた素晴らしい成長の証と言えるでしょう。

6年生をおくる会では、伊倉小についての「〇×クイズ」や、テレビ番組さながらに校庭を駆け回った「逃走中（追いかっこ）」が行われました。学年の枠を超えて笑い合い、全力で走り回る子供たちの歓声が学校中に響き渡り、大いに盛り上がりました。

6年生にとっては、小学校生活の締めくくりにあふれんばかりの思い出の1ページとなったはず。6年生からは卒業式で歌う「ベストフレンド」の歌の発表がありました。

その後のお弁当タイムでは、縦割り班ごとに教室に分かれ、6年生と一緒に楽しく食べていました。

遠足の中止というハプニングさえも、みんなの力で素敵な思い出に変えることができた1日。この絆を胸に、6年生は輝かしい未来へと、在校生は新たな学年へと、力強く歩みを進めてほしいと願っています。



〇×クイズの様子



縦割り班でお弁当を食べる様子

## 校長室から ～“学校運営協議会”って何？～

“学校運営協議会”は、地方教育行政法に基づき設置される組織です。その最大の目的は、「地域と共にある学校づくり」を推進することにあります。校長が作成する学校運営の基本方針を承認し、地域の方々や保護者の視点を学校経営に直接反映させることで、より豊かな教育環境を目指しています。勿論、本校にも学校運営協議会があります。令和7年度の協議会員の皆様は右図のとおりです。

### 《令和7年度学校運営協議会》

保護者配付用に名簿記載

本校では年間3回の協議会を開催しております。委員の皆様には、授業参観はもちろん、運動会や卒業式といった各行事にも足を運んでいただきました。日頃の児童や教職員等、学校の様子を直接見ていただくことで、実際の学校の状況に基づいた話し合いを行っています。

3月3日（火）、本年度最後となる第3回学校運営協議会を実施いたしました。今回の主な議題は、1年間を締めくくる「学校評価」の結果報告です。児童・保護者・教職員それぞれに実施したアンケート結果を分析し、委員の皆様にご説明いたしました。

委員の方々からは、評価結果を踏まえた様々な意見をいただきました。「子供たちの挨拶が良くなっている」「メディアの使い方については今後も継続した取組が必要」といった具体的なアドバイスは、次年度の学校経営方針を策定する上での貴重な指針となります。

伊倉小学校は、これからも地域の方々と手を取り合い、子供たちが誇りをもてる学校であり続けたいと考えております。

